



Tetralinkによる開発のDX

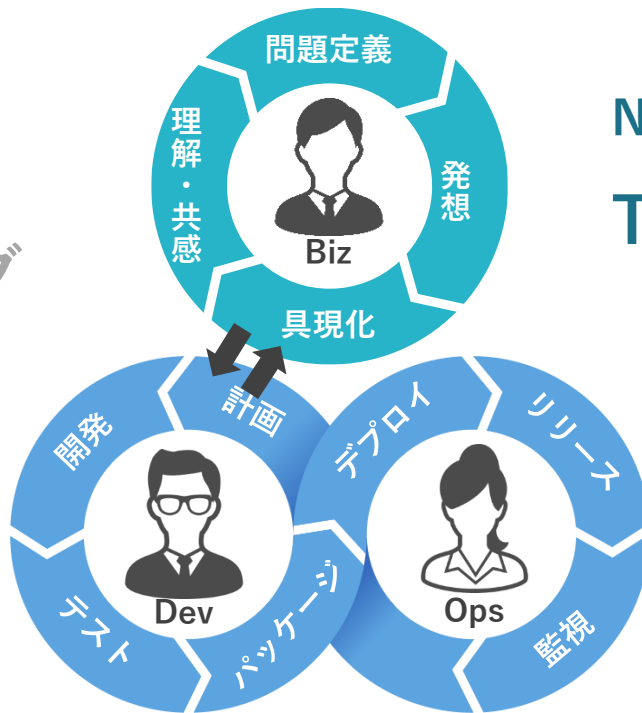
技術本部 生産技術部 アーキテクチャ&テクノロジーセンター

小野 卓彦

本セッションの位置付け

システムのアジリティと
信頼性を両立する

マイクロサービス・
クラウドネイティブ



NSSOL開発DXの実現
Tetralink

アジェンダ

1

アーキテクチャ&テクノロジーセンターのご紹介

2

Tetralinkのコンセプト

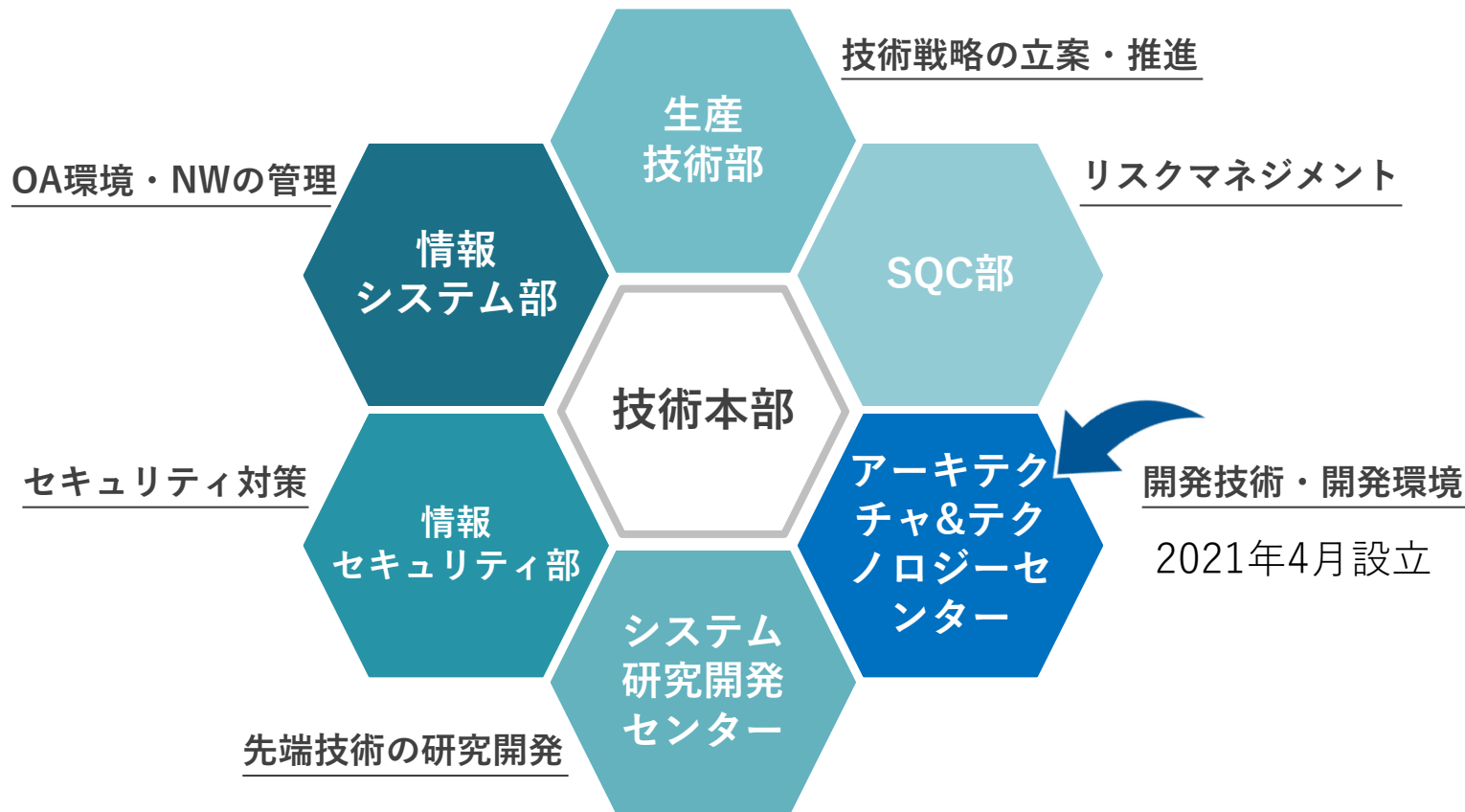
3

まとめ

1

アーキテクチャ&テクノロジーセンター のご紹介

アーキテクチャ&テクノロジーセンターのご紹介



アーキテクチャ&テクノロジーセンターのミッション

ALL NSSOL

幅広い業務分野と
お客様業務の深い知見

最新技術の
継続的研究と活用

組織・マインド変革支援
DXユースケース横展開

各事業部

システム研究開発センター

DXIC

アーキテクチャ&テクノロジーセンター

各組織の力を最大化するための
社内開発プラットフォームを提供

開発プラットフォーム

開発支援ツール

開発ノウハウ・プロセス

アーキテクト育成

NSSOLの継続的な開発DXの実現

アーキテクチャ&テクノロジーセンターの継続的サービス変革

システム研究開発センター

ニーズとシーズをすり合わせ、
3年先の将来まで見据えた先端技術/
アーキテクチャ・プロセスの研究開発

研究開発成果の実用化

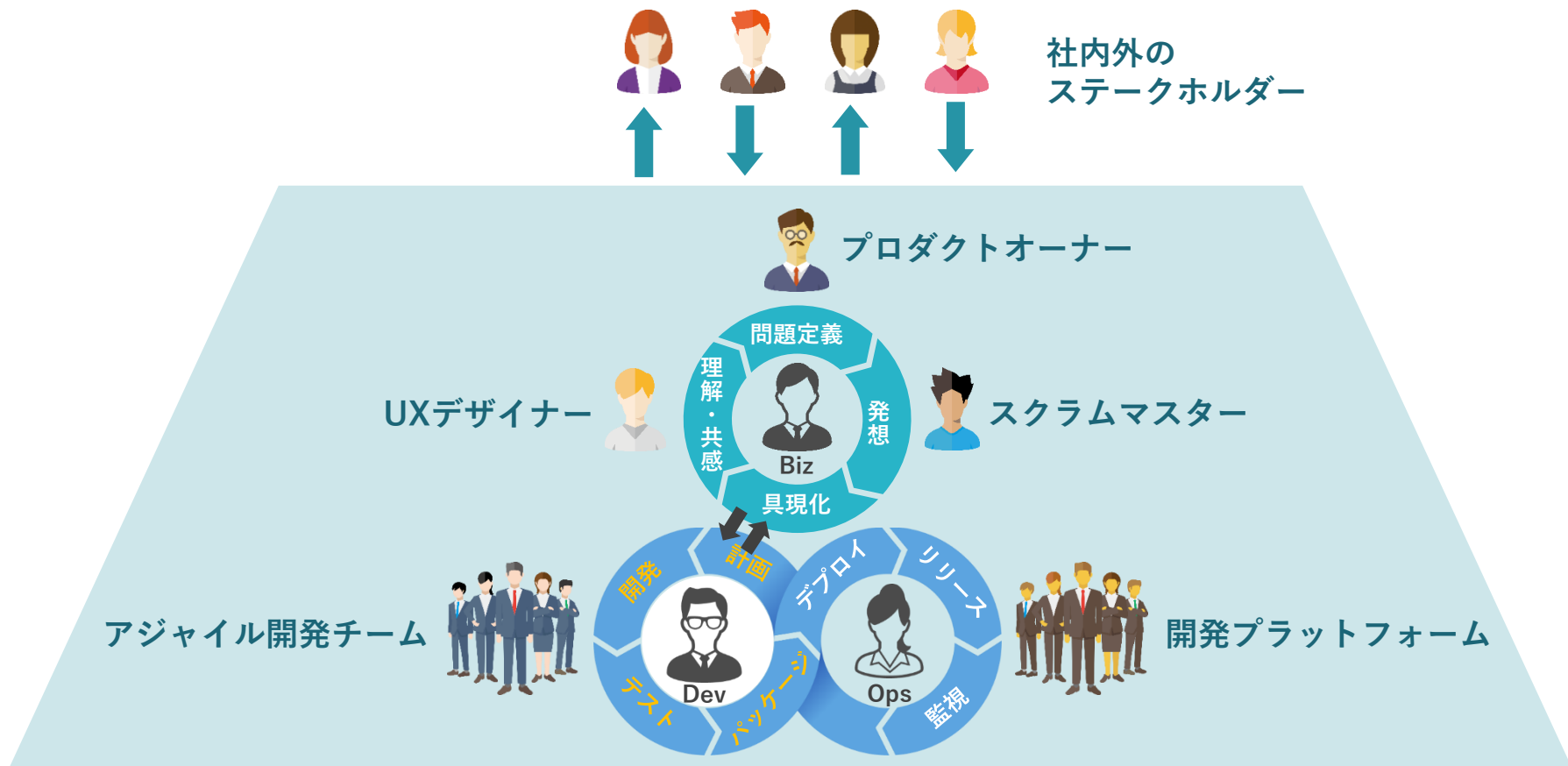


現場からのフィードバック

アーキテクチャ&テクノロジーセンター

研究開発成果を全社向けにサービス展開し、
NSSOLの開発技術力を継続的に進化

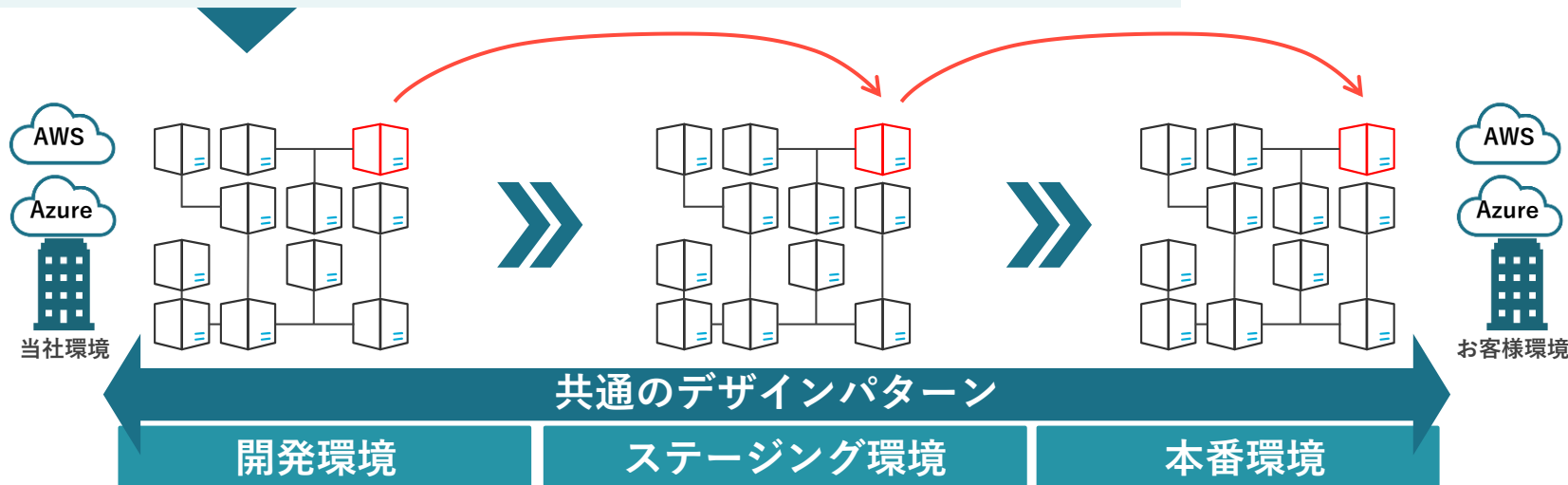
開発のアジリティ向上によるビジネスへの貢献



開発環境と本番運用の連動によるビジネススピードの向上

マイクロサービス・アーキテクチャ

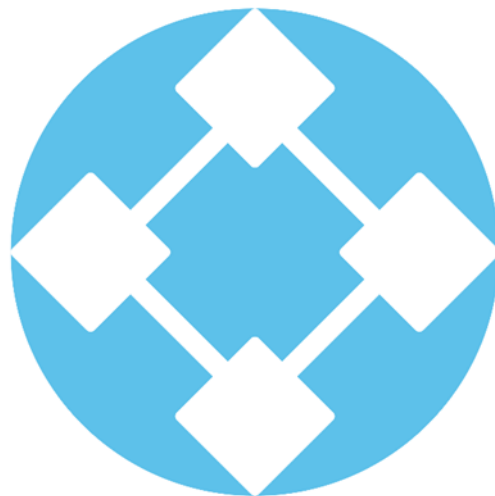
APを小さなサービス(コンテナ)に分割することによりサービス単位での開発が可能



クラウドネイティブ

コンテナのポータビリティを活かして開発環境から本番環境までをシームレスに連動

新開発プラットフォーム：Tetralinkの誕生



T e t r a l i n k

2

Tetralinkのコンセプト

新開発プラットフォーム（Tetralink）のコンセプト

1

アジリティの高い開発プラットフォーム

▶ クイックに試行錯誤できるアジリティの高いDesign & Agile向け開発プラットフォーム

2

部門を跨いだソリューション・開発技術・ノウハウの流通

▶ 全社ノウハウを集積・配布する各種リポジトリ・仕組み

3

開発ビッグデータ活用によるSIの高度化

▶ 開発プロジェクトの可視化・分析機能

4

多様化する利用環境・接続ニーズへの対応

▶ 多様な働き方・働く場所に対応するツール・環境

Tetralinkで実現するこれからの開発文化



とにかく早く
つくる



MVPの原則



ダメなら
すぐやめる



高回転
フィードバック

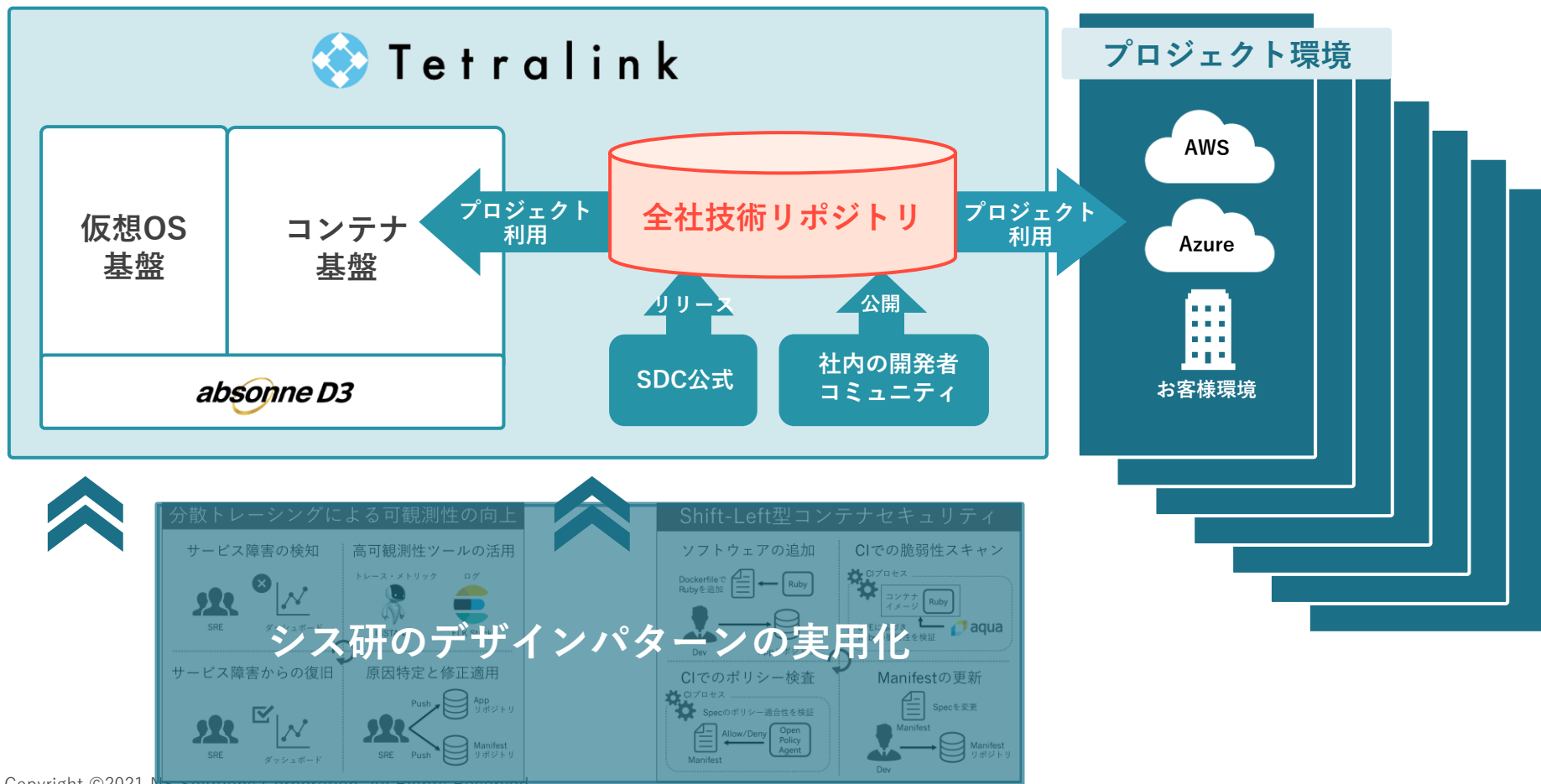


アジリティ
優先

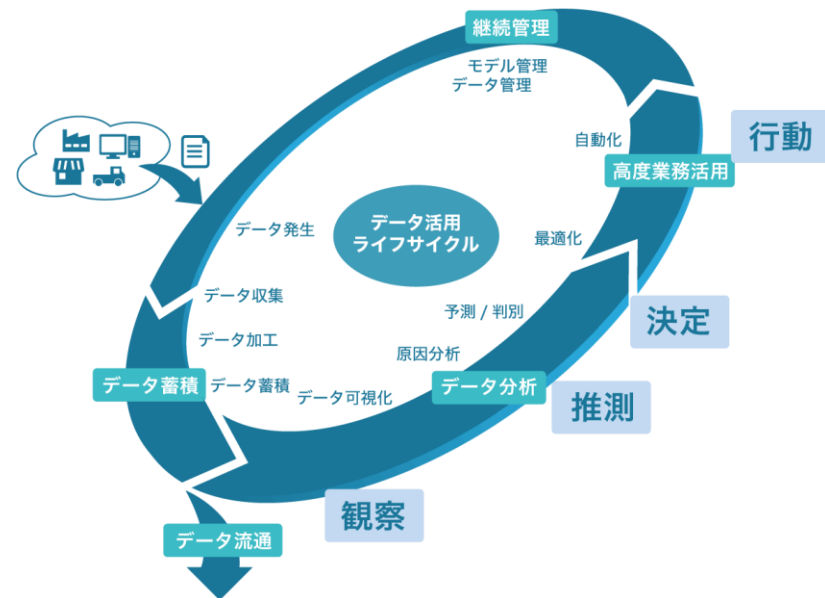
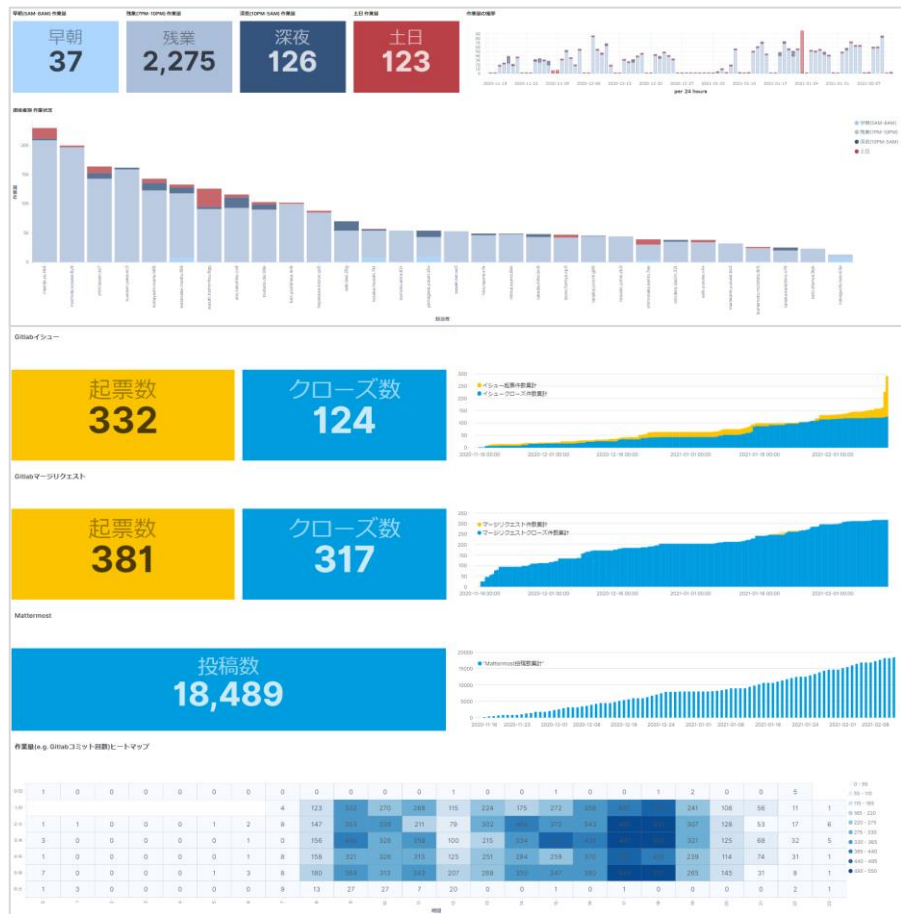


小さく早く
失敗

アジリティの高い開発プラットフォーム



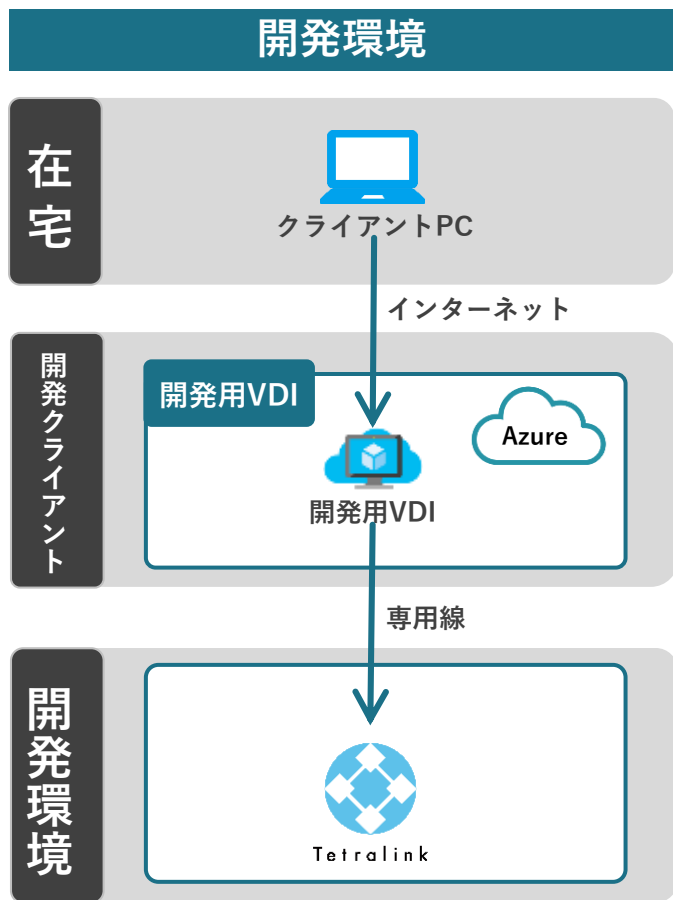
開発ビッグデータ活用によるSIの高度化



開発そのものから生まれる価値がある

開発ビッグデータ×AIで、開発活動そのものを
更なる価値を生み出す源泉へと変換

多様化する働き方への対応



リモート開発環境を オンプレ同様快適に

- ・ エンジニアがパフォーマンスを
発揮できる環境を整備
- ・ 時代に即した新しい働き方を実現

3

まとめ

Tetralinkで目指す世界

お客様のファーストDXパートナーを目指して

- お客様の持続的な事業成長を支え続ける
- お客様に寄り添い時代に即した新しいSIの形を実現

システムエンジニアリング領域での社内変革

- エンジニアの挑戦を支える開発プラットフォームの継続的進化
- 新しい開発カルチャーをまとったエンジニアの活躍フィールド

商標について

X Integrator、hifive、Geminant、Geminant（ロゴ）、安全見守りくん、IoX、IoXプラットフォーム、匿丸、匿丸（ロゴ）、OptBrain、OptBrain（ロゴ）、Tetralink、Tetralink（ロゴ）、日鉄ソリューションズ、NSSOL、NS(ロゴ)は日鉄ソリューションズ株式会社の登録商標です。

その他本文記載の会社名及び製品名は、それぞれ各社の商標又は登録商標です。